

連休明けて地域の高齢者を見回り

05月08日 14時09分



10連休の期間中、地域に住む高齢者が変わったことがなかったか、東京・墨田区ではボランティアが見回りを再開し、一軒ずつ自宅を訪ねて声をかけました。

この活動は、東京・墨田区の社会福祉協議会の委託を受けてボランティアの住民が行っています。

連休中に休止していた訪問活動を再開し、8日はメンバーの女性2人が、地域の高齢者の自宅を20軒ほど訪ねました。

そして、体の調子や変わったことがなかったか、ひとりひとりに声をかけて確認していました。

このうち、1人暮らしの83歳の女性は「娘夫婦や孫がいますが連休中は予定があるだろうと、遠慮して1人で過ごしました。寂しくて辛かったです。こんな風に訪ねてきてくれてとても嬉しいです」と話していました。

また、息子と孫の3人で暮らす79歳の男性は「ふだんは孫が出勤する前に朝起こすのが日課ですが、その生活リズムが崩れました」と連休中の生活の様子を話していました。

ボランティアの角田妙子さんは「具合が悪い人は今日はいなくて良かったです。ただ、意外と寂しい想いをしている人は多いので、家族の方にはちょっとした声かけだけでもしてもらえたらと思います」と話していました。